

ハイパー&グリーンイノベーション水島コンビナート総合特区

[指定：平成23年12月、認定：平成24年9月]

I 目標に向けた取組の進捗に関する評価

i) + ii) の平均値  $(3.7 + 3.3) / 2 = 3.5$

3.5

i) 取組の進捗

目標値に対する実績に基づく進捗度(当年度実績)

番号	評価指標	進捗度	評点
1	企業間連携による用役コストの低減	0%	1
2	水島港の輸送効率改善による貨物取扱量	195%	5
3	企業集積によるコンビナートの成長と雇用の確保	250%	5

評価指標毎の進捗の評価の平均値  $(5 \times 2 + 4 \times 0 + 3 \times 0 + 2 \times 0 + 1 \times 1) / 3 = 3.7$

3.7

・1つの評価指標に複数の数値目標がある場合は、各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均する。  
 (例) 評価指標1について、a、b、cという3つの数値目標があり、各数値目標の評点・寄与度がa:5・20%、b:4・10%、c:3・70%の場合、 $5 \times 0.2 + 4 \times 0.1 + 3 \times 0.7 = 3.5$ で、四捨五入して評価指標1の評価は「4」となる。

■ 地方公共団体による特記事項

※外部要因による数値への大幅な影響等があれば記載

ii) 取組の方向性に対する評価

専門家による評価の平均値

3.3

II 支援措置の活用と地域独自の取組の状況に関する評価

i)、ii)、iii) の平均値  $(3.5 + 2.7 + 4.3) / 3 = 3.5$

3.5

i) 規制の特例措置を活用した事業等の評価

専門家による評価の平均値

3.5

ii) 財政・税制・金融支援の活用実績の評価

専門家による評価の平均値

2.7

iii) 地域独自の取組の状況の評価

専門家による評価の平均値

4.3

### Ⅲ 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決に関する評価

(専門家所見(主なもの))

3.5

- ・各種規制緩和の活用、各種の補助制度の創設などを実施し、新規の企業立地数及び雇用者数の目標を達成していることは、評価に値する。
- ・とん税非課税化や不開港出入許可手数料免除などの効果、ハード設備の整備が水島港の輸送効率の向上につながったことが評価される。
- ・用役コスト低減のための低コストボイラ発生蒸気比率の目標について、進捗度が分かりにくい点、低コストボイラ比率の増加が高コストボイラの停止を意味するとは限らない点が気になる。
- ・貨物取扱量については、5年後の目標値の根拠が不明である。また、一隻当たり貨物取扱量だけでなく、総貨物取扱量も記載すべきであろう。一隻当たり貨物取扱量が増えていても、総貨物取扱量がもし減っていれば意味がない。
- ・コンビナートの成長の指標について、付加価値・生産性の向上が特区の目指すところであるので、製品出荷額の規模拡大(割合拡大)よりも、例えば企業あたり・労働者・労働時間あたりの指標を見るべきではないか。

専門家による評価(専門家の総合的な所見)の平均値

3.5

### 総合評価

I、II及びIIIを1:1:2の比率で計算  $(3.5 + 3.5 + 3.5 \times 2) / 4 = 3.5$

3.5

(注)評価に係る評点及び表記の考え方については以下のとおり。

- ・評価は5～1(評点)で行う。
- ・進捗度は、100%以上を5、80%以上100%未満を4、60%以上80%未満を3、40%以上60%未満を2、40%未満を1とする。
- ・進捗度以外の評価項目における評点は、5:著しく優れている、4:十分に優れている、3:適当である、2:適当であると認めるには不十分である、1:適当であると認められないとする。